



光星 中盤に集中打

三農新田 5回まで好投

三農 豊 0000000000
 八学 光星 00100410X 60
 (三) 新田、下道、橋場
 (八) 和田、櫻井、安藤、
 向井、奥村
 △三農打 小淵 (八) △二

▽塁打 新田(三)花岡(三)の六回一死二、三農から花岡の二塁打で2点を追加。
 △試合時間 1時間57分
 (球審 福永、塁審 成田、喜、奈良、藤本)
 【評】光星は1点リード

の六回一死二、三農から花岡の二塁打で2点を追加。続く小淵と小林が畳み掛けでさらに2点を奪い、突き放した。三農は主戦新田が5回までコースを丁寧に見せた。

く投球で相手打線を抑え込んでいたが、六回の4失点で試合の流れを失った。

力は出し切れた

「三農の主戦新田潤也は、強豪光星を相手に五回まで1失点に抑える好投を見せた。」

「途中まではいける感じだったが、六回は少し気が抜けてしまった。それでも力は出し切れた」と新田。悔しさと充実感で、涙と笑顔が入り交じった表情だった。

「甘い球はすぐに打たれる」と、得意のスライターを中心に組み立て、コースを丁寧に突いた。連打を許さずに味方の援護を待ったが、相手の守備も隙がなく、六回ついに光星の強力打線につかまった。



「三農―八学光星」6回光星1死二、三農、花岡小次郎が左中間に二塁打を打ち、3―0とする
 二はるか夢

けが克服 花岡3安打

○…三農の投手陣に序盤、思わぬ苦戦を強いられた光星打線。その中であって、花岡小次郎は3安打2打点と気を吐いた。ベンチには夏の初戦独特の緊張感が漂っていたが、「自分は緊張しないタイプなので」と花岡。安打3本は全て二塁打で、

チームの勝利に大きく貢献した。秋の県大会からベンチ入りしたが、右手中指を骨折。春も膝の肉離れを起こして戦列を離れていただけに、「最後の夏こそは試合に出て打ち続けたい」と力を込めた。